

学力向上に効果のある取組事例

別府市立上人小学校

⑰校内研修などによる授業改善

取組の具体①

【校内研究】

○授業改善のテーマ

協働して学び合う子どもの育成

○授業改善の重点

①「できた、わかった」を実感できる授業実践

・対話が生まれる「課題」の設定

② 対話に視点を置いた言語活動の充実

- ・対象や自己、他者との対話の素地づくり
- ・対象や自己、他者との対話を生む手立て
- ・対話における言語活動
- ・ICT機器等の活用

【研究で取り組む内容】

- ・対話が生まれる「課題」の設定
- ・様々な対話のあり方



【授業で期待する姿】

協働して学び合う

5. 研究内容

研究テーマを具現化するために以下の①・②を研究の主な内容として取り上げる。幅広い教科・領域について研究授業を行っていくとする。

① 「できた、わかった」を実感できる授業実践

- 対話が生まれる「課題」の設定
 - ・子どものつよみや疑問からの課題設定
 - ・「既習事項とのズレ」「適度な壁」「意見の対立や拮抗」がある課題設定
 - ・追求すべき事柄を明確にした課題設定

→課題がポイントに沿って設定されているか検証

② 「対話」に視点を置いた言語活動の充実

- 対象や自己、他者との対話の素地づくり。
 - ・課題を引き受け、自分の考えを書く（もつ）。
 - ・エンカウンターを用いた人間関係作り。
 - ・他者との対話における教師の価値付け。
- 他者との対話の素地として必要なことを挙げ、整理する。
- 対象や自己、他者との対話を生む手立て
 - ・対話する必然性のある「課題」の設定。
 - ・学習内容に応じたグループサイズの適用。
 - ・情報の可視化・操作化など思考を深めるツール等の適用。
 - ・他者の考えと比較する視点の提示。

→課題から読み取りやすいような対話が生まれていたか検証

○対話における言語活動

- ・「対象との対話」「自己との対話」を通して自分の考えをもつ。
- ・自分の考えを、「他者との対話」を通して折り合いをつけたり、誰かの考えに根拠を付け加えたり、自分の考えに自信をもったり、新たな考えを創出したりする。

→自分の考えが広がり、深まったりしたか検証

取組の具体②

【授業の素地】

○「聴き方あいうえお」

- ・4月に「聴き方あいうえお」の取り組みを共通理解し、学年に応じた聴き方を各教室に掲示し、日頃から聴き方を意識できるようにする。集会など全校で集まる時にも聴き方を意識させる。

○書く活動

- ・授業の中で、「自分の考えを書く」時間を設定し、自分の考えを整理させる。学習課題に対して自分の考えを持ち、その考えを書くことで対話活動につなげていく。

き かん 聴き方「あいうえお」

- あ いてをみて
- い いしせい
- う なずきながら
- え がおで
- お わりまで

似ているところ

〇〇さんと△△の
ところが似ています。

他の考え
他にも考えがあります。

わからないところ
もう1度
言ってください。

ちがうところ
〇〇さんと□□の
ところがちがいます。

「考えを書く」時間

